

早産予防に骨盤輪固定が有効だったと考えられる症例報告

NPO法人 母子整体研究会

○山元加代子 中川葉月 渡部信子

7/11日本周産期・新生児医学会 第6会場 ナビスB P111

頸管長 骨盤輪固定で有意に回復

Cerv.After:T. TEST 0.011446913 Aft-Before:T. TEST 0.006019927

	A群 (塩酸リトドリンdiv)				B群 (塩酸リトドリンdiv+骨盤輪固定)			
	Gest.Weeks	Cerv.Before	Cerv.After	Aft-Before	Gest.Weeks	Cerv.Before	Cerv.After	Aft-Before
CASE1	26	32	40	8	24	30	49	19
CASE2	30	25	38	13	28	26	48	22
CASE3	31	27	35	8	32	25	44	19
平均	29	28	37.67	9.667	28	27	47	20

群馬/水・浜田病院産婦人科にて初産早産入産中のCASE(データ提供 合坂幸三先生)



骨盤支持ベルト
(トコちゃんベルト)

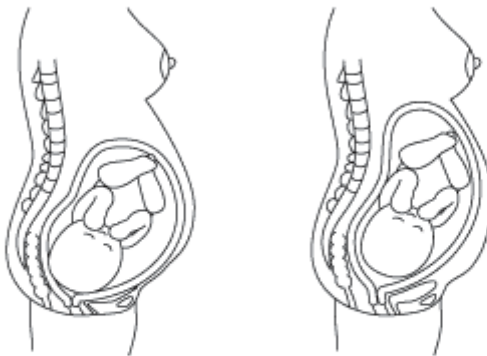
骨盤高位で骨盤支持ベルトを装着



骨盤輪固定の位置

骨盤内臓器の下垂を骨盤高位で改善を図る

骨盤輪固定前 骨盤輪固定後



- ・ 脊柱生理的湾曲が弱く、扁平狭胸郭-内臓下垂、骨盤底容積の拡大
- ・ 内臓下垂、子宮下垂により、子宮頸管が圧縮される
- ・ 物理的刺激による非感染性炎症反応により子宮収縮が起こる

- ・ 骨盤輪固定により、骨盤底容積が縮小
- ・ 内臓下垂、子宮下垂が改善されることにより、子宮頸管は圧縮されない
- ・ 物理的刺激が軽減し、子宮収縮が緩和される



外来followのcase

33歳 1G1P 保育士

25W UC自覚
Cerv. 28.7mm

骨盤支持ベルト装着

29W UC緩和
Cerv. 47.5mm

40W2D 分娩
出生時体重3944g

リトドリンPO(-)
産休まで保育士として就労